日本共産党名古屋市議団 市政ニュース
2018年5月1日
No.310
http://www.n-jcp.jp
名古屋市中区三の丸三丁目１－１
電話052(972)2071　FAX052(972)4190
発行・日本共産党名古屋市会議員団

日本共産党市議団が天守閣シンポの報告集を発行（5月1日）

河村市長が5月7日から名古屋城天守閣を閉鎖し入場禁止にすることついて、日本共産党市議団は１日、記者会見を行い、現時点での党市議団の考え方と昨年末に市議団主催で行った「天守閣シンポ」の報告集発行について紹介しました。

江上博之党市議団幹事長は、天守閣の耐震性強化は木造復元でなく、まず耐震改修を行い、その間に市民の意向をくんで機運を醸成していくことを提案。さらに多様な市民の意見が詰まった天守閣シンポの報告集の普及を図りたいと述べました。

天守閣入場禁止への見解を発表し、天守閣シンポの報告集発行について報告する市議団。報告集（写真右）の申し込みは市議団まで

名古屋城天守閣解体に対する見解及び天守閣シンポ委報告集発行についてのご紹介

5月7日から名古屋城天守閣への入場閉鎖となります。市の説明理由は、天守閣地下一階の石垣調査のため、あるいは、天守閣の耐震性が弱く危険だからと報告しました。

石垣調査に入れないまま入場禁止に

天守閣内部にある展示物の今後の陳列方法を決めないまま、2022年12月天守閣木造化完成まで閉鎖を続けるというのです。これで市民や観光客に現天守の解体、木造化が進むという機運醸成になるのでしょうか。

しかも5月7日から石垣調査を行うための文化庁の許可はありません。許可の申請すら行っていません。ただ入場を禁止することだけが決まっているのです。

バリアフリーを無視し、「史実に忠実」

また、重量のある車いすで展望階まで行けるようにしてほしいという障がい者の方からの要望で、エレベーターを含めどう実現するか検討がされている最中です。検討途中ですが、現時点でも、いくらエレベーターを設置できたとしても、５層のうち４層までしか上ることができないことを名古屋市は明らかにしました。「史実に忠実な」木造化方針と市民の要望は、矛盾が深まるばかりです。

「天守閣シンポの報告集」を発行

これらの点だけでも、2022年木造化は河村市長の計画だけで、実現可能性については疑問の声が多くあります。

そこで、日本共産党名古屋市議団は、昨年12月16日、「まだ止められる2022年名古屋城天守閣木造化」シンポジウムを開催し、市民のみなさんの声を反映した事業となるよう、市民の声を交わす場を用意しました。そのシンポジウムの報告集が完成しましたので、今日報告の場を持ちました。（ご希望の方には、党市議団控室（☎ 972－2071）でお渡しします。

今はお城より暮らしに目を向けて

2022年木造化は、50年間で1000億円を超える大型開発です。入場料で賄うと河村市長は言いますが、今の192万人の入場者が2倍近い346万人を50年間続けるなどということをだれが信じることができるでしょうか。赤字となれば税金投入です。ただでさえ財政が厳しいことを理由にくらしの予算が削られているのに、お城の建設でさらに暮らし予算を削る。いったい誰が承認するでしょうか。

耐震改修も視野に入れるべき

シンポで、大阪城元館長の渡辺武さんがお話しされた、鉄骨鉄筋コンクリートの大阪城の例は私たちの提案の実例を示しています。市民合意のない2022年天守閣木造化は即刻中止することを強く求め、私たちの提案も含め市民論議を進めることを求めます。

第８９会愛知県中央メーデー

市議団も市民にアピール

「働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をスローガンにした第89回愛知県中央メーデーが、約2800人の市民が参加して白川公園で行われました。日本共産党市議団12人も全員参加し、集会に参加する人に市政の問題点などを話し、ともに政治を変えようと呼びかけました。

集会後、2コースに分かれて栄まで行進し、沿道の人や道行く人たちに政治革新などを訴えました。